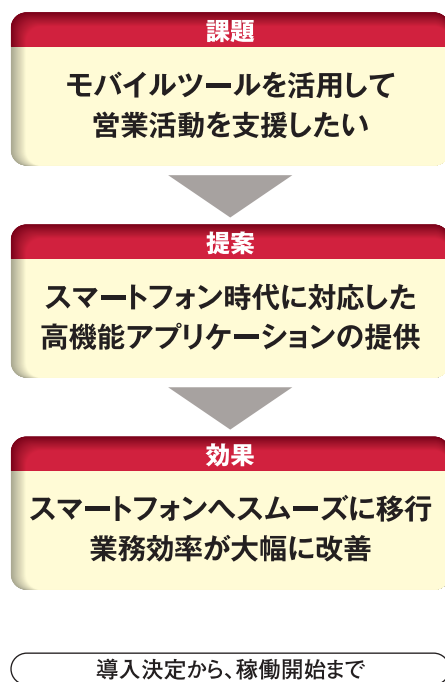
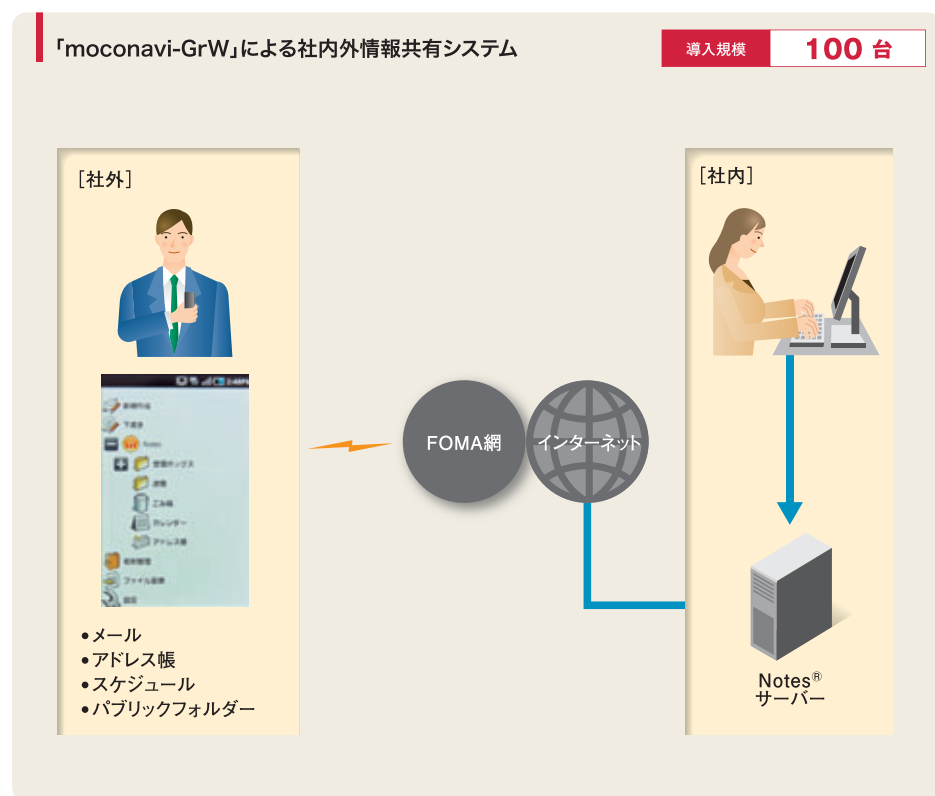


# スマートフォンとグループウェアの連携 営業担当者の機動力向上

## 「GALAXY S」と「moconavi-GrW」を用いたリモートアクセス



約 **2** か月間

### 課題

フッ素樹脂ほか各種樹脂製品の製造・販売を行う中興化成工業は、北京オリンピック会場で使われた天井素材を手がけるなど、高度な加工技術を生かした事業を展開している。

同社では事業の目的として、顧客の抱える問題を解決し満足を与えることを第一に掲げている。このため、営業活動を支援するモバイルソリューションの導入を積極的に行ってきた。

グループウェア (Lotus Notes®) をはじめ、シンクライアント型のモバイルコンピューティングも導入するなどの取り組みを進めていたが、現場からは改善を求める様々な意見が寄せられていた。

「外出先から社内へのアクセスに活用されていたのはノートパソコンでしたが、『起動に時間がかかる』『バッテリーの持ち時間が短い』などと指摘されていました」と同社総務部電算課課長の森博隆氏は語る。

そこで同社では、ノートパソコンに代わるモバイルツールとしてスマートフォンに注目、2010年末に「GALAXY S」を導入した。これにより、営業担当者の機動効率を高める効果が認められるとともに、さらなる活用法としてグループウェアへの対応が求められた。

### 提案

このような課題に対してドコモでは、スマートフォンから社内のグループウ

エアを利用するためのアプリケーション「moconavi-GrW」を用いたソリューションを提案した。

moconavi-GrWは2010年10月にAndroid™端末に対応した。スマートフォンの特徴であるタッチパネルに合わせ、大幅な改善が図られたものだ。提案に当たってはスマートフォンから社内のNotes®サーバーにアクセスする際の操作性とともに、同社においてグループウェアの中心的な利用方法であったメール、スケジュール機能の視認性、操作性を重視した。

業務で使われるWord®、Excel®などのファイルは、一般的なケータイの画面では小さくて見づらいという欠点があるが、本製品にはスマートフォンの持つズーム、スクロールといった機能を活用するドキュメントビューワーが搭載されており、ビジネスシーンでの活用に堪える視認性を確保している。

一方、スマートフォンのビジネス使用で課題となるセキュリティについても、Android™対応版は端末にメールや添付ファイルデータを残さない仕組みを実装しているため問題はなかった。

同社の事業所は全国各地に分散しており、営業担当者の活動範囲は広い。同社では創業地である福岡を拠点に全社規模で導入することとし、各事業所での利用環境を整備した。

### 効果

moconavi-GrWは約2カ月間の準備期間を経て、2011年5月から運用を開始

した。

「営業担当者の年齢層は幅広く、スマートフォンの操作に不慣れな社員もいるため、利用開始に先立ち各事業所へ出向いて説明会を行いました。社員からは戸惑いの声が上がることなくスムーズに進めることができました。まだタッチパネルの入力に慣れていない人もいますが、大画面で操作性の高いスマートフォンが業務で使えることはメリットだと思います」と、森氏は語る。

特に、これまで重いパソコンを持ち歩いていた営業担当者にとって、グループウェアのメールやスケジュールをスマートフォンで確認できるようになったことは大きな収穫といえるだろう。森氏は「現在はメール、スケジュールのほか、顧客情報の管理にも使用していますが、スマートフォンでもGPSで取引先の地図が表示できるので便利です。何よりこれまで操作にかかっていた時間が短縮できたのが大きいです」と評価する。

同社では今回の成果を踏まえ、スマートフォンのさらなるビジネス活用を推進する計画である。具体的には、グループウェアの会議室予約機能などもスマートフォンからも利用できるようにするほか、各業務のワークフローを外出先で編集できるように、活用範囲を広げたいとしている。

またスマートフォンだけでなく、将来的には各事業所の社員から寄せられる業務改善に関する提案を、ケータイから直接グループウェアに送信できる仕組みを整備するなど、全社的な情報共有を進めていく方針だ。

## 中興化成工業株式会社 様

福岡県福岡市中央区大手門1-1-12 大手門バインビル5F  
http://www.chukoh.co.jp/

業種 **その他製造**



総務部電算課  
課長  
森 博隆 様

以前からスマートフォンの便利さは理解していましたが、実際の業務での利用はまだ将来の話と考えていました。今回社内で利用しているグループウェアとの連携利用が可能になったことで、即戦力のビジネスツールとしてスマートフォンは十分な実力を備えていると感じました。今後も顧客満足の追求に役立つような活用法を考えていきたいです。

### 担当からのメッセージ

株式会社NTTドコモ  
九州支社 福岡支店  
法人営業部 チャネル支援担当 主査  
中村 愛



スマートフォンをできるだけ早く日常業務に役立てていただけるように、各拠点の説明会に参加し、お客さまのご要望把握に努めました。これからも工夫を重ね、より使いやすいシステムをご提案したいと思っています。